

(社)大阪港振興協会では、大阪ベイエリアを中心としたビジネス動向や海・船・港にまつわるイベント事業をはじめとする最新情報を随時配信しています。ご関係部署にご回覧ください。



最新情報

平成21年度 大阪市港湾局主要事業の概要

臨海部のまちづくり 171億1,900万円

スーパー中枢港湾の実現に向けて、今年8月に開通予定の夢咲トンネルの整備や、10月の夢洲高規格コンテナ埠頭一体供用開始に向けた基盤整備を行うとともに、都市再生緊急整備地区である咲洲コスモスクエア地区の賑わい創出のため、大阪港咲洲トンネル通行料の見直しや立地促進助成制度を活用した企業誘致に努め、臨海地域の活性化を図っていく。

さらに、地震や津波等の災害に強い港づくりとして、防潮堤等の耐震対策や港湾施設の適切な維持補修を行うとともに、新人工島(フェニックス事業)の推進や姉妹港との交流など、環境に配慮した市民に親しまれる港の整備・振興に努める。

1. スーパー中枢港湾の実現 51億5,800万円

- ・夢咲トンネル等の整備 6億3,600万円
夢洲～咲洲の海底トンネル 開通予定 21年8月
- ・夢洲コンテナターミナル株式会社への貸付 44億9,200万円
夢洲コンテナ埠頭の一体供用開始予定 21年10月
- 新**・暫定主航路の保全・管理適正化調査 3,000万円
安全航行のための適正な幅員確保等に向けた調査を実施

2. 臨海地域の活性化 55億2,800万円

- ・大阪港咲洲トンネル通行料の見直し
普通車 200円 → 100円 実施時期 21年10月
- ・咲洲コスモスクエア地区立地促進助成 10億円
3,000㎡以上の市有地を取得し、重点産業分野の研究開発関連施設、生活利便施設、国際交易関連施設を新增設する企業等に対し、取得費の一部を助成
助成額 市有地取得費の30%以内 上限10億円
- ・咲洲コスモスクエア地区道路の整備など 16億9,700万円
- 新**・R岸壁のフェリー対応化に伴う土地利用のあり方検討調査 400万円
企業のニーズ調査や交通量の予測など
- ・なにわの海の時空館の展示更新 1億8,900万円
- ・咲洲東地区第6貯木場土地造成事業 7億8,600万円
- ・舞洲地区基盤整備 1億4,800万円

- ・鶴浜地区基盤整備 4億8,200万円
- 新**・夢洲の先行開発地区における産業立地促進に関する調査 200万円
土地需要の動向を調査するとともに、企業誘致のための効果的なインセンティブ等について検討
- ・夢洲土地造成など 10億2,600万円
- ・築港地区再開発 1億6,000万円
- ・みなと観光交流促進 3,400万円
民間と区が連携して行うイベントをクルージングでつなぐ「川と海をつなぐ舟運にぎわいまちづくり事業」の実施など

3. 地震や津波等の災害に強い港づくり 22億7,100万円

- ・津波・高潮危機管理対策緊急整備 1億9,000万円
- ・堤防施設の耐震補強など 17億3,700万円
- ・臨港交通施設の耐震補強など 3億4,400万円

4. 安全で使いやすい港づくり 21億9,700万円

- ・港の保安対策の推進 3億2,500万円
- ・港湾関連施設の維持補修など 18億7,200万円

5. 市民に親しまれる港づくり 3億2,100万円

- ・大阪港における魚釣りのあり方検討 100万円
外部有識者の意見を踏まえた魚釣り可能エリアの検討など
- ・市民海洋カレッジ 1億1,500万円
帆船「あこがれ」によるセイル・トレーニング事業
- ・ポートセールスおよび姉妹港との交流など 1億7,400万円
- ・エコアートフェスタ大阪の開催への分担 200万円
環境問題に対する意識を啓発するため、ごみを活用したアートイベントの実施
- ・臨海地域の緑地整備など 2,900万円

6. 新人工島の整備 16億4,400万円

- ・新人工島の整備(大阪湾広域臨海環境整備センター事業) 16億4,400万円
受入開始 21年 秋

